

【2021年度】

掲載シラバス	人間情報学部	人間情報学科専門科目
科目番号	215009	科目名 子どもシステム論
教員名	佐藤 朝美	
ナンバリング	2330	
履修年次 / 開講期 / 単位	2年 / 後期 / 2単位(選択)	科目等履修生・聴講生受入
授業形態	講義	

科目等履修生・聴講生の受入には条件がある場合があります

授業の概要

現代の子どもを取り巻くデジタルメディアの環境は変化は目覚ましく、多種多様なコンテンツが提供され、デジタルツールは日常生活の道具となっている。本授業では、乳幼児期の発達段階の特徴を考慮した子どもの育ちにより良いデジタルメディアのあり方について考える。発達心理学や幼児教育の基本とともに、子ども向けデザインの手法やワークショップについて、さらにはアナログ玩具の歴史や理論的背景、デジタルコンテンツの現状とその研究的な展開についても学ぶ。

授業の目標

乳幼児期の発達段階や幼児教育の基本について理解する。乳幼児期を取り巻く環境の歴史的背景から現代のデジタル環境の系譜を理解し、子どもの育ちとデジタルメディアのより良い関係について理解する。子ども向けコンテンツを制作をするための基礎的な素養を身に付ける。

授業計画

第1回	ガイダンス・子どもの育ちと学び
第2回	子どもの発達段階・遊びを通じた学び・幼児教育
第3回	子どものデザイン（遊びと学びのデジタルエクスペリエンス）とワークショップ
第4回	遊びと学びの系譜1：モンテッソーリ教育と教具
第5回	遊びと学びの系譜2：フレーベルのキンダーガルテンと恩物
第6回	遊びと学びの系譜3：レッジョ・エミリアアプローチ
第7回	システムの系譜1：エデュテインメントソフトウェア
第8回	システムの系譜2：デジタル絵本
第9回	システムの系譜3：知育アプリ
第10回	システムの系譜4：デジタルプレイ
第11回	システムの系譜5：プログラミング
第12回	システムの系譜6：園（保育園・幼稚園・子ども園）での実践と園業務システム
第13回	子どもを対象としたデジタルシティズンシップ教育
第14回	子ども向けデジタルメディアコンテンツ制作の手法
第15回	まとめ

授業外学習の指示

子どもを取り巻く環境について情報収集を行う。社会的動向についても自分自身で調べ、問題関心を広げること。

評価方法

平常点（3割）：毎回授業後に提出するリアクションペーパーの内容）、レポートの内容（3割）、まとめで実施するテスト（4割：持ち込み不可）から総合的に評価する。初回授業時に評価基準を明示する。

テキスト

指定しない。

参考文献・資料

日本教育工学会監修 山内祐平・山田政寛編著 (2016) 「インフォーマル学習 教育工学選書 7」 ミネルヴァ書房

視聴覚教材の使用

第6回「遊びと学びの系譜3：レッジョ・エミリアアプローチ」では、日本語字幕付きの映像を使用する予定である。

第13回 / 第14回にオンデマンドの遠隔授業を行う。当該授業時にMicrosoft

Teamsより資料を配信するため、指定された期間内に確認し、課題を提出すること。遠隔授業の詳細は、Microsoft Teamsの授業チームで改めてお知らせをする。